

(様式3)

平成28年度 学力向上マニフェスト

荒川区立第三中学校

本年度の指導の重点 (昨年度の成果と課題を踏まえて)	取組の概要(実施内容)	評価指標 取組指標(教師側指標) 成果指標(子ども側の指標)
【三中てらこやで学力向上】 本校伝統である「三中てらこや」を即効性のある学力向上策として実施する。学力向上調査、各種検定において大きな成果が見られており、今年度も基礎・基本の定着と検定の合格実績を伸ばす。	・週2日、夜7:00～8:30にプリント学習コース、各種検定級別学習コースによる補習授業を実施する。指導は、教員を目指す学生を採用し、チームで指導する。指導補助として保護者のボランティアの参加を募る。	【取組指標】 ・・・年間約40日以上の実施を目指す。大学生を中心とする外部人材主導の運営を確立させる。 【成果指標】 ・・・全国、都、荒川区の各種学力向上調査においてそれぞれの正答率を上回る成果を目指すとともに前年度の数値を超えることを目標値とする。
【学校図書館学習センター化・情報センター化推進】 学校図書館の授業活用を前提として数値目標を掲げて学校図書館授業を実践する。書籍の整備等を積極的に行い、調べ学習等に活用する。	・学校図書館の授業活用を日常的なものとし、学習センター化を一層進める。特に読探のソフト活用や教室での書籍活用等・保護者に皆様の支援による図書館ボランティアの参加により、図書館改革を加速させる。	【取組指標】 ・・・学校図書館の授業活用を積極的に進め、下記の数値目標を達成する。学校図書館開館日を245日以上、学校図書館授業を年200回以上とする。 【成果指標】 ・・・図書館利用者生徒数を累積16,000人以上、貸出冊数累積8,000冊以上の数値目標を達成する。
【教科指導でのタブレットPC、ICT機器活用の推進】 昨年度以上にタブレットPCを授業活用することで授業内容の充実・工夫改善を行う。電子教科書等のICT機器活用で授業改善を行う。	・各教科におけるタブレットPC活用時間を記録し、活用率を正確に把握する。 ・補習活動等、タブレットPC活用を学習に生かす。 ・電子教科書活用を広げ授業改善に結びつける。	【取組指標】 ・・・教科指導におけるタブレットPC使用率を前年度比で130%を目指す。電子教科書の日常的な活用で授業改善に取り組む。 【成果指標】 ・・・ICT機器活用による授業により、理解度を高め、学力調査や期末考査の結果を高める。結果を公表する。
【キャリア教育の推進】 キャリア教育で求められる基礎的・汎用的能力の育成を体験活動での学びと教科指導での学びの両面で進める。両面をリンクさせることで一層の学力向上を図る。	・将来への夢や希望、意欲の高まりは学力向上につながる。「校内ハローワーク」「おもしろ探求授業」等、外部人材を活用した体験活動により将来を見据えた学ぶ意欲に結びつける。	【取組指標】 ・・・事後指導等の工夫により学ぶ意欲に結びつけ、学力向上調査の意識調査で、学ぶ意欲等、全ての項目で前年度数値の2ポイント上を目指す。 【成果指標】 ・・・体験活動に積極的に参加し、将来を見据え意欲的に学ぶ姿勢を身につける。高い正答率に結びつける。
【研究推進による授業力向上を図る】 「小中一貫教育研究実践校」荒川区研究指定校「アクティブラーニング」の研究を通じ、授業力向上を目指し学力向上へ結び	・2つの研究指定校として年間を通じて研究授業や協議会を行い、第三中学校としての授業水準を高いレベルまで上げる。 ・学識経験者に指導を仰ぎ、平成29年2月3日の研究発表会にその成果をまとめ広く公開する。	【取組指標】 ・・・年間約40回に及ぶ研究授業を実施し、協議会等を通じて学力向上に結びつく指導方法の在り方について研究する。特に新学習指導要領の目指すアクティブラーニングについて先進的な研究を実践する。 【成果指標】 ・・・アクティブラーニングの研究のため生徒自身が能動的な学びを実践できるようにする。
【各種検定推進で学力向上】 各種検定の受検率、合格率は向上したものの、さらに高い合格率を目指す。検定教材の充実や補習活動を推進し、検定に挑戦する過程で学力向上を図る。	・「三中てらこや」の検定コース、授業での指導、放課後補習において検定問題集等を活用しながら実力を高めるとともに検定合格者を増やす取り組みを行う。	【取組指標】 ・・・本校での準会場受検を3種類で毎学期実施し、年間で9回の受検機会を提供する。 【成果指標】 ・・・各種検定(英検、漢検、数検等)のそれぞれで受験者数、合格者数を前年度比、各級1.3倍を目指す。

【評価】 成果指標の達成度から評定（A・B・C）を決める
A: 達成度90%以上 → 目標達成と見なし新たな目標を設定する B: 達成度が9割未満5割以上 → 継続実施 C: 達成度が5割未満 → 目標の見直し

予算執行	取組の成果	評価